

# 第4回 広島スポーツ理学療法研究会

4<sup>th</sup> Hiroshima Sports Physical Therapy Meeting  
(対面・Webハイブリッド開催)

投球障害肩・肘関節の理学療法  
～医療現場とトレーナー活動現場それぞれの視点より～

## プログラム・抄録集

日 程： 令和6年1月21日（日）

10:00～13:30

開催方法： ハイブリッド開催

開催場所： 南区民文化センター2階スタジオ

ZOOMによるWeb開催



主催 公益社団法人広島県理学療法士会

## 第4回広島スポーツ理学療法研究会を開催するにあたって

新型コロナウイルス感染症により多くの制限を受けてきたスポーツ現場においても、流行前の様な活気が戻っていることを実感しています。

スポーツ理学療法に関する情報共有の場をつくり、会員がよりスポーツ支援活動をしやすい雰囲気作り、情報収集の場、意見交換を行う場を提供することを目的に、これまで3回の理学療法研究会を開催してきました。

今回も、広島県内のスポーツ理学療法分野で活動している理学療法士が集結し、今後のスポーツ理学療法を考えるきっかけとなる場になればと考えています。

昨年までは社会情勢を考慮して、Web形式での開催としてきましたが、今回は対面とWebでの開催を検討しています。プログラムとして特別講演とパネルディスカッションの2本立てとしています。特別講演では投球障害肩のご専門で、多くのスポーツ選手の治療経験のある横矢 晋氏に「理学療法士に求めること～ここがキモ！投球障害肩～」と題してご講演いただく予定です。またパネルディスカッションでは各スポーツ現場から会員へメッセージとして、3名のパネリストをお呼びし、「野球肩・肘に対する治療及びアスレティックリハビリテーションの実際」と題して、立場の異なる理学療法士の方々にスポーツ現場の関わり方についてご講演していただく予定となっております。現在、スポーツに関わっている方はもちろんですが、これからスポーツ理学療法に関わっていきたいと思っているすべての皆様の参加を心よりお待ちしております。

第4回広島スポーツ理学療法研究会  
準備委員長 佐藤 誠亮

## 第4回広島スポーツ理学療法研究会プログラム

\* 当日、予期せぬネット回線トラブル等によりスケジュールが変更となる場合があります。その際は学会ホームページにて適宜案内いたしますのでご確認ください。

10:00~10:10	開会あいさつ 佐藤 誠亮 (第4回広島スポーツ理学療法研究会 準備委員長)
10:10~11:40	特別講演 「理学療法士に求めること ～ここがキモ！投球障害肩～」 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 整形外科主任部長 横矢 晋 氏  座長：佐藤 誠亮 (医療法人和光 和光整形外科クリニック)
11:50~13:20	パネルディスカッション 「野球肩・肘に対する治療及びアスレティックリハビリテーションの実際」 前田 慎太郎氏 (医療法人和光 和光整形外科クリニック) 仲吉 等氏 (医療法人すぎたクリニック) 溝口 裕章氏 (医療法人社団楓会 林病院)  座長：岡野 真典 (医療法人龍樹会 池田整形外科リハビリテーションクリニック)
13:20~	閉会あいさつ 浅枝 諒 (公益社団法人広島県理学療法士会 職能局健康増進部長)

特別講演 (10:10~11:40)

## 「理学療法士に求めること ～ココがキモ！投球障害肩～」

地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院整形外科  
横矢 晋

ボールを投げると肩が痛い選手が病院やクリニックに来院され、院長から「リハビリしましょう。」といわれてリハビリ処方箋が発行されました。さあ、皆さんはどうしますか？

診断するのは医師の仕事とはいえ、理学療法士もその患者の投球障害を引き起こしている原因を理解しないとイケません。まずは年齢を確認しましょう。小学校高学年から高校低学年であれば、まだ近位骨端線が残存している可能性があるため、リトルリーグ肩の可能性が高いです。その場合、近位骨端線の圧痛を確認することが重要です。また痛みの場所が肩甲骨後方や烏口突起周囲で、肩の多方向への動揺性がある場合は肩甲骨機能不全に伴う肩周囲の痛み、あるいは外側四角腔症候群や小胸筋症候群による神経痛の可能性もあります。

一方、骨が成熟した高校生以上の場合には病態が多岐にわたります。最も一般的なのは肩関節の潜在的な前方不安定性に肩後方 **tightness** が合併したことが原因で生じる上腕骨頭の求心性不良から腱板と関節唇の衝突現象である **internal impingement** が生じて **cocking** 後期で肩の痛みが生じます。同様な病態で **follow through** 期に前の方が詰まると訴える **anterosuperior impingement** もあり、これは上腕二頭筋長頭腱の滑走障害が原因です。多方向性不安定症が **base** にある患者の場合は、その患者の状態により **internal impingement** であったり **anterosuperior impingement** であったり、肩峰下 **impingement** が生じることもあります。

それらを見極めるためには①圧痛を確認すること、②身体所見で疼痛が誘発されるものを見つけることです。圧痛で確認する部位で重要なのは、上腕骨近位骨端線、鎖骨上窩、**quadrilateral space**、烏口突起～小胸筋附着部、結節間溝などが挙げられます。疼痛誘発テストとしては **internal impingement** がある場合には **crank sign** や **O'Brien test** が陽性になり、**anterosuperior impingement** では **Speed test** や **Yergason test**、**Ellman test** が陽性になります。肩峰下 **impingement** では **Neer test** や **Hawkins test** といった **impingement sign** が陽性になります。

さらに、そのような病態をきたす根本的な原因の追究のため全身をチェックします。肩に関しては腱板構成筋や肩甲骨周囲筋の筋力低下の有無、肩後方 **tightness** の有無、前方だけでなく後方や下方への動揺性の有無を診ます。そして、肩甲帯だけでなく、股関節内旋可動域制限の有無、大腿四頭筋やハムストリングの **tightness** の有無、胸郭の動きや体幹のバランス、全体の姿勢などもチェックして全身のコンディションを調整してあげることが重要です。



## 講師略歴

### 横矢 晋 (よこや しん)

【所属】 地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 整形外科 主任部長

【職歴】 1999年 4月 広島大学整形外科 研修医  
1999年 6月 中国労災病院整形外科 医師  
2000年 4月 松山市民病院整形外科 医師  
2002年 3月 公立三次中央病院整形外科 医師  
2004年 4月 広島大学大学院整形外科 大学院  
2008年 4月 広島西医療センター整形外科 医師  
2010年 4月 広島大学大学院整形外科 助教  
2012年 5月 広島大学病院整形外科 診療講師  
2020年 4月 広島大学病院整形外科 講師  
2022年 10月 広島大学大学院医系科学研究科人工関節・生体材料学講座 准教授

【認定資格】 日本専門医機構認定整形外科専門医  
日本整形外科学会認定スポーツ医  
日本スポーツ協会公認スポーツドクター  
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS) 評議員  
日本肩関節学会代議員  
学位取得 博士 (医学)  
広島東洋カープチームドクター  
広島県体育協会スポーツ医・科学委員会委員  
広島県医師会スポーツ医部会委員  
広島県医師会医事紛争委員会  
広島外傷研究会世話人  
広島野球障害健診プロジェクト運営委員会世話人  
American Journal of Sports Medicine 査読委員  
BMC Musculoskeletal Disorders 査読委員  
Journal of Shoulder and Elbow Surgery 査読委員  
Journal of Orthopaedic Science 査読委員  
雑誌「JOSKAS」査読委員  
雑誌「肩関節」査読委員

パネルディスカッション (11:50~13:20)

## 「野球肩・肘に対する治療及びアスレチックリハビリテーションの実際」

医療法人和光 和光整形外科クリニック	前田 慎太郎
医療法人すぎたクリニック	仲吉 等
医療法人社団楓会 林病院	溝口 裕章

### 「私の考える投球障害肘への対応と障害発生予防に向けた取り組みの紹介」

医療法人和光 和光整形外科クリニック 前田 慎太郎

投球障害肘の臨床で最も多く見られるのが肘内側部障害である。少年期では主に上腕骨内側上顆下端障害、高校生以上では肘内側側副靭帯損傷などの病態を呈する。これらの疾患に対しては保存療法が第一に選択されることが多いため、理学療法士・トレーナーが治療に関わる頻度が非常に高い。今回は私が行っている肘内側部障害への対応について、医療機関・スポーツ現場で共通する理学療法評価およびコンディショニングのポイントを中心に簡潔に述べる。また、我々は障害発生予防を目的とした取り組みとしてメディカルチェックを継続的に実施している。前向き研究の結果、高校野球選手における肘内側部障害発生の危険因子として、投球側の“上体開き”（肩甲帯を含む複合的体幹回旋可動性）の制限が有意に関連していた。投球障害肘における胸椎・胸郭・肩甲帯機能を含めたコンディショニングの重要性を示唆する結果であると考え。発表ではこれらの取り組みや結果についても私見・考察を交えて報告する。

### 「高校野球トレーナーとしての活動報告 他施設連携について」

医療法人すぎたクリニック 仲吉 等

2012年より呉市内の高等学校硬式野球部にトレーナーとして活動しているが、その中で投球障害を引き起こす選手は少なくない。選手に対して、フィジカルチェックやトレーニング指導しているなかで、メディカルな部分は確認できない事が多い。実際には選手が通院している病院でどれぐらい負荷をかけて良いか直接確認し、報告してもらったため情報収集に時間を要することが多かった。よりスムーズな連携および情報収集が出来ないかと模索している所、とあるきっかけで周辺施設の理学療法士と連携を図ることができた。その結果、メディカルな情報をより早く入手でき、監督、コーチ陣とスムーズな情報共有が出来ることができた。今回は、現在行っている情報収集および施設間連携の方法について述べ、今後の課題についても触れていきたい。また、現場で実際に行っているフィジカルチェックや投球肩障害に対する修正プログラムやトレーニング指導などをスライドや動画を用いて説明しながら、参加者の皆様と活発な意見交換が出来れば幸いである。

## 「離断性骨軟骨炎における術前と術後の当院での関わりの実際」

医療法人社団楓会 林病院

溝口 裕章

上腕骨小頭の離断性骨軟骨炎（Osteochondritis dissecans ; OCD）は少年期の野球選手において肘内側部障害に並び臨床場面で多い投球障害肘の1つである。OCDは病期に応じて、保存療法・手術療法と医学的な治療方針が異なり、それに伴い理学療法士の介入目的も異なってくる。その中で、特にOCD術後の早期に我々理学療法士に求められることとして、肘関節の機能改善、膝関節の機能改善、歩行・階段昇降の獲得、ADL動作の獲得などメディカルの要素が大部分を占める。今回は我々がOCD選手の術前、術後～競技復帰までの病期に応じた理学療法介入のポイントについて、医師の方針（術中所見を含めて）、画像所見を踏まえながら簡潔に述べる。また、保護者、退院後に外来での理学療法介入を行う紹介先施設だけでなく、指導者、所属チームのトレーナーとの密な情報共有をいかに行うかが今後の課題である。これらを踏まえて、臨床現場で理学療法士が求められることの実際や関わり方についての私見を述べさせて頂き、参加者の皆様と情報共有が出来れば幸いであると考えている。

## 講師略歴

### 前田 慎太郎 (まえだ しんたろう)

- 【所属】 医療法人和光 和光整形外科クリニック
- 【職歴】 2008年 広島大学 卒業  
2008年 医療法人和光 和光整形外科クリニック 入職  
2021年 医療法人和光 和光整形外科クリニック 理学療法科主任
- 【公職】 NSCA-CSCS  
認定理学療法士 (運動器・スポーツ理学療法)  
中級障がい者スポーツ指導員
- 【スポーツ関連活動】  
2011～2015年 広島県立五日市高校サッカー部トレーナー  
2013～2015年 バルコム BMW Cup 平和祈念広島国際ユースサッカー大会  
広島県高校選抜トレーナー  
2016年～現在 広島工業大学高校野球部トレーナー

### 仲吉 等 (なかよし ひとし)

- 【所属】 医療法人 すぎたクリニック
- 【職歴】 2007年3月 広島医療保健専門学校 卒業  
2007年3月 理学療法士免許取得  
2007年4月 医療法人社団まりも会 平松整形外科病院入職  
2011年4月 平松整形外科内科銀山町に異動  
2015年8月 上記施設退職  
2015年10月 すぎたクリニック入職 現在に至る
- 【公職】 公益社団法人広島県理学療法士会 健康増進部 (2017年～現在)  
公益社団法人 運動器の健康・日本協会 (2020年～現在)  
中国四国ブロック パラスポーツ指導者協議会 トレーナー部 (2022～現在)
- 【スポーツ関係資格】  
日本パラスポーツ協会公認 パラスポーツトレーナー (2013年取得)
- 【スポーツ関連活動】  
2007年～2019年 車いすテニス大会 (Peace Cup フィジオサービス)  
2012年～2015年 Peace cup フィジオサービス準備委員長  
2012年～現在 呉市立呉高等学校硬式野球部トレーナー  
2021年 東京2020オリンピック競技大会テコンドー会場 メディカルスタッフ  
2022年 第8回スペシャルオリックス日本夏季ナショナルゲーム・広島  
バスケットボール会場 メディカルスタッフ



**溝口 裕章 (みぞぐち ひろあき)**

【所属】 医療法人社団楓会 林病院

【職歴】 2010年 山口コ・メディカル学院 卒業

2010年 医療法人社団楓会 林病院 入職 2001年4月

【公職】 公益社団法人広島県理学療法士会 広島中支部長 (2015年～現在)

広島野球障害検診 (HYMECS) 理事

広島県テニス協会 医事委員会医科学委員

【スポーツ関係資格】

認定理学療法士 (スポーツ理学療法)

中級障がい者スポーツ指導員

JTA 認定テニストレーナー

【スポーツ関連活動】

2022年～現在 国民体育大会広島県テニス代表トレーナー

2022年 第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島

サッカー会場 メディカルスタッフ

2022年～現在 広島県立呉三津田高校陸上部トレーナー

## 第4回広島スポーツ理学療法研究会 運営スタッフ

浅枝 諒 国立大学法人 広島大学病院

石田 勝 社会医療法人里仁会 興生総合病院

猪村 剛史 学校法人古沢学園 広島都市学園大学

岡崎 綾 医療法人社団 古川医院

岡野 真典 医療法人龍樹会 池田整形外科リハビリテーションクリニック

落合 秀晃 医療法人社団ヤマナ会 東広島整形外科クリニック

佐藤 誠亮 医療法人和光 和光整形外科クリニック

砂池 紗帆 医療法人おかもと整形外科クリニック

園生 真弘 医療法人社団おると会 浜脇整形外科病院

仲吉 等 医療法人すぎたクリニック

村尾 竜次 にしもり整形外科クリニック

山本 真士 中国電力株式会社 中電病院

(順不同)